

日露運輸作業部会 第4回次官級会合における、主な議論は下記の通り。

1. 極東港湾の高度化

ロシア極東港湾の高度化について、昨年12月及び本年4月に開催した国土交通省港湾局とロシア連邦運輸省による港湾当局間会合での議論やそれ以降の進捗について確認するとともに、今後の更なる港湾プロジェクトの具体化に向けて引き続き協力を進めていくことで一致しました。

2. 航空分野における協力

日本とロシアの企業間で協議が進められているハバロフスク国際空港新ターミナル建設・運営事業について、本プロジェクトの成功に向けて必要な手続きが速やかに行われるよう、日露双方で取り組んでいくことを確認しました。

3. 鉄道分野における協力

ロシア側から、シベリア鉄道及びロシア極東港湾を利用した貨物輸送の改善について紹介がありました。日本側からは、日本企業へのヒアリング等に基づいたシベリア鉄道の更なる利用促進に向けた改善点について紹介し、共に検討することとしました。

4. 物流情報システムの連携による物流高度化

日本のコンテナ物流情報サービス(Colins)とウラジオストク商業港のシステムを連携するトライアルプロジェクトについて、本年4月の港湾当局間会合での議論も踏まえ、引き続きプロジェクト実現に向けて双方で取り組んでいくことを確認しました。

5. 資源輸送に際するロシア籍船の使用義務化に係る法改正

ロシア一部海域で採掘された天然資源の輸送をロシア籍船に限定する法案について、日本側は懸念を伝えるとともに、外航輸送は本法案の適用除外とするよう申し入れました。ロシア側からは、本法案は検討中であり何か決まれば情報提供する旨回答がありました。

6. 海技資格の相互承認

海技資格の相互承認に係る約束の締結について、引き続き両国で協力の上、早期の署名を目指して調整作業を迅速に進めていくことを確認しました。